

# いのちを守る都市づくり

## みんなで備える広域複合災害

住吉・住之江・西成区編



大阪市立大学  
OSAKA CITY UNIVERSITY

ODRP  
大阪市立大学 都市防災研究プロジェクト  
Osaka City University - Disaster Resilience Research Project

## コミュニティ防災のビジョンを語る

南海トラフや上町断層を震源とする巨大地震の発生など、災害に備えるためには、地域の防災力を高めることが不可欠です。今回のフォーラムでは、住吉区内におけるコミュニティをベースとした先進的取り組み事例をご紹介します。



### 小学校を軸とする地域防災の取り組み

東日本大震災では釜石テンデンコという行動規範が「釜石の奇跡」を生み出した。先進事例を参考にしながら、「小学生が地域をまもる」というモットーのもと、市立南住吉大空小学校では、子どもたちによる地域防災の教育プログラムが計画されています。それは行政からトップダウン的に行われる防災計画とは異なるものです。始まったばかりの小学校の取り組みについて語り合います。

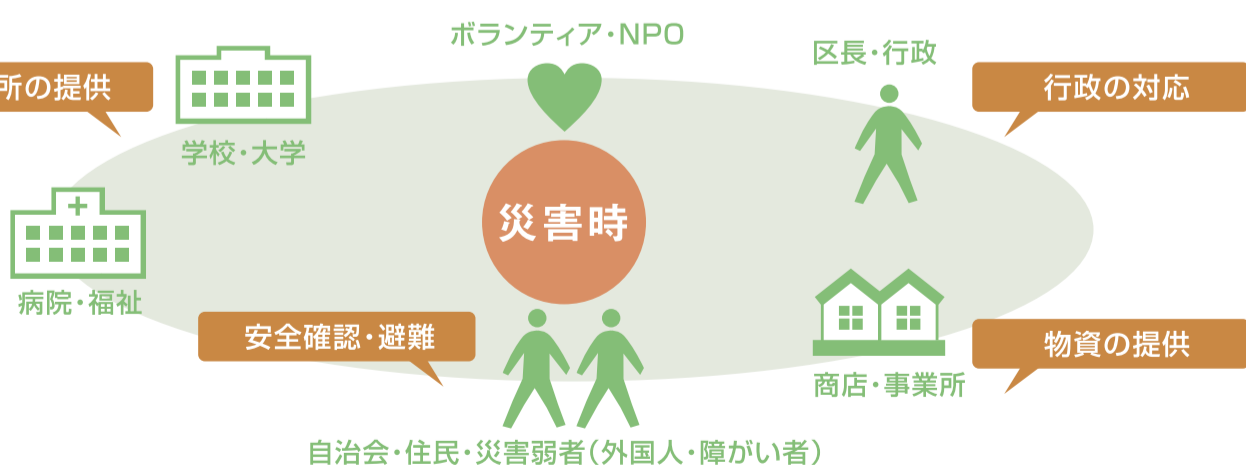
大阪市立南住吉大空小学校  
教諭  
大島 勇輔さん



### 住吉区における防災の取り組み

地域防災力の向上にむけ、11月に区役所の災害対策本部設置訓練と2地域の避難所開設訓練を同時に行う訓練を実施しました。また、平成24、25年度にフィールドワークや学習会を行い、12地域の防災プランを策定していきます。このように、区民の皆様との、財産を守るため災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

住吉区長  
吉田 康人さん



### 依羅連合町会の地域防災の取り組み

依羅連合町会は浅香地域を中心として構成される町会です。毎年同町会では、住民参加による自主消火訓練を近隣公園で行ってきました。今年度は、依羅連合地域防災リーダー、女性防火クラブ員、そして住民の参加を募って企画しました。定例の消火訓練の他、来年には災害等に備え、より本格的な避難訓練を連合町会の主催により実施する予定です。

依羅連合町会  
地域防災リーダー  
山本幹夫さん



### 山之内スマイル協議会の地域防災の取り組み

いつ発生するか解らない震災。どのような規模で発生するかも解らない震災。その状況にキッチリ対応しようとするれば、何事も前に進めません。震災ネットワークファイル作成委員会は、事にあたって臨機応変に対応できる基本マニュアルを作成し、それに対応できる柔軟な思考を持つスタッフを育てるしか、地域防災を支えることができないと考えて、設立されました。

震災ネットワーク  
ファイル作成委員会  
委員長  
森本優さん



## いのちを守るしくみ



災害からいのちを守るしくみについて考えます。災害発生直後の救命救急から避難、生活支援、復興、そして次の災害に備えるためのしくみについて考えます。

### ① 地域リスクの見える化〈災害発生時〉 地域に潜むリスクをデジタルマップで体感しましょう。

地域防災を考えるうえで地域に潜むリスクを把握することが重要となります。本学では、これまで行政が構築してきた災害リスク情報や災害想定に関わる情報を中心として、デジタル・マップとして整備しています。これらのデジタル・マップはインターネットにより、将来的に公開することを計画しています。当日はiPadや大型スクリーンを用いて皆さんに防災デジタル・マップを实际に見て触って頂き、地域に潜むリスクを体感していただけます。



大阪市立大学大学院  
文学研究科  
木村 義成

### ② iPadで地域防災を学ぶ〈災害発生時〉 iPadを使って、楽しみながら地域防災を学びます

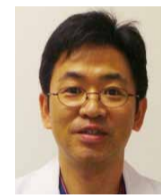
最近色々な場面で活用されているタブレットの"iPad"を使って、いつでもどこでも気軽に簡単に、家族みんなで地域防災を学ぶことができます。地域防災とは消防などの専門家だけでなく、地域で暮らす住民が老若男女を問わず主体的に防災に取り組むことです。しかしながら、何から始めれば良いのでしょうか。"iPad"を使えば、クイズなど楽しみながら地域防災を学ぶこともできます。災害は忘れた頃にやってきます。普段から、気軽に楽しみながら地域防災を学びましょう。



### ③ 災害時の医療〈災害直後対応〉 災害時の医療のしくみと活動の内容を知ろう



阪神大震災での「避けられた死」の存在を教訓に、我が国の災害医療体制は飛躍的に発展しました。被災地内外での重症患者受け入れのための施設として災害拠点病院が整備され、トリアージや、災害時特有の診療技術、さらには「がれきの下の医療」など専門的な訓練を受けたDMATという医療チームの養成が行われました。今回は災害時の医療活動について、少しでも理解を深めていただけたらと思います。



大阪市立大学大学院  
医学研究科  
山本 啓雅

### ④ 災害時のセルフケア〈災害直後対応〉 災害時に自分の命と健康を守るセルフケアについて考える



災害時に自分の命や健康を守るためには、日頃からのようなことに留意しておくことが大切かを、調査データをもとに考えてみたいと思います。また、災害時に身近なものでできる緊急用の医療グッズの作成なども体験し、どのような状況下においても、自分と家族の命と健康を守ることについて考えましょう。



大阪市立大学大学院  
看護学研究科  
石井京子  
秋原志穂  
坂口桃子  
藤村一美  
村川由加理

### ⑤ 災害弱者支援体験〈災害直後対応〉 車いす体験を通して、災害弱者支援の実際を学びます。



災害時、危険が身に迫っていても自ら適切に動けない人に対しては、周囲からの手助けが必要です。今回は、車イスでの避難を実際に体験します。車イスの操作や移乗の方法を学ぶことはもちろん大切ですが、本人と支援者との間で適切なコミュニケーションを図ることによって、当事者にとって安心かつ安全な避難につながります。是非、お越しください。



大阪市立大学大学院  
生活科学研究科  
岩間伸之(右)  
大阪市住吉区  
社会福祉協議会  
山田直宏(左)

### ⑥ 避難体力を考える〈災害直後対応〉 いのちを守る避難行動に必要な体力について考えます



いのちを守るために求められる避難行動とは、限られた時間で安全な場所に移動することです。大阪市では、避難ビルの確保が進められ短距離かつ短時間で避難できる場所を確保する取り組みがなされています。高齢者や要援護者のいのちを守るために必要な避難行動および避難行動に必要な体力について考えます。



大阪市立大学大学院  
都市健康・  
スポーツ研究センター  
渡辺 一志

### ⑦ 福祉避難所〈避難・避難所〉 災害時要援護者のための福祉避難所について考えます



高齢者等の災害時要援護者の避難生活には、様々な困難が伴います。そこで、特別な対応体制を持つ福祉避難所という避難所が設置されます。福祉避難所への受入から対応体制まで、福祉避難所のあり方を考えます。



東日本大震災での  
避難所(体育館を転用)  
大阪市立大学大学院  
生活科学研究科  
生田英輔

### ⑧ 災害時に備える食料〈家庭での備え〉 何をどれだけ備えておけば一先ず安心なんでしょうか!



自助努力の目安としては、被災後3日分の備蓄食料や飲料水を準備しておくことが望まれます。また、状況によっては普段から私たちが目にしている食品でも役立つことがあります。また、火力や食器の準備も必要です。



大阪市立大学大学院  
生活科学研究科  
由田 克士

### ⑨ 人間を守るコミュニティ防災〈復興・災害に備える〉 全ての人を災害から守るコミュニティ防災を探る。



災害に最も脆弱な立場にいる社会的弱者(高齢者・障がい者・外国人住民等)を守るには、当事者同士の相互扶助を始め、地元コミュニティへの参画の保障、それを支える包摂的な都市や社会システムの環境整備から始まる。



大阪市立大学大学院  
都市研究プラザ  
全 弘圭

### ⑩ 祭りと防災〈復興・災害に備える〉 祭りは人々を繋げる。防災には繋がりが重要だ。



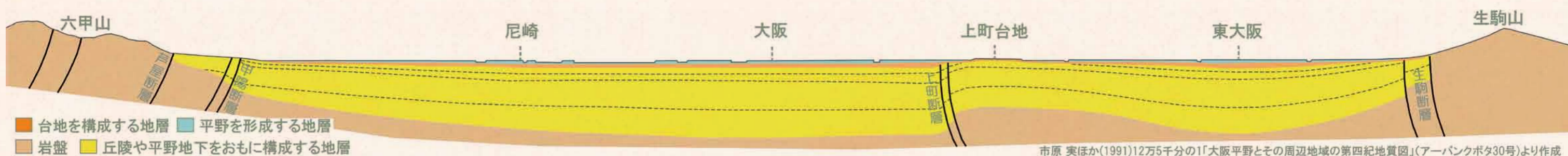
東日本大震災の津波被災地においては、民俗芸能もまた壊滅的な被害を受けました。しかし地域復興の過程で、芸能上演や祭りは被災者を慰めたり励ましたりといったメンタル面でのケアとともに、コミュニティの人的絆の軸にもなりました。インフラや経済だけでなく、心の復興を考えると、祭りのもつ意味は大きいといえます。被災後だけではなく、防災の面からも祭りの意味や機能を再認識し、住吉の祭り資源に注目したいと思います。



大阪市立大学大学院  
文学研究科  
中川 真

# 広域複合災害を知る 住吉・住之江・西成区

地域の災害特性や避難所の位置を街ぐるみで確認してみましょう。



市原 実ほか(1991)12万5千分の1「大阪平野とその周辺地域の第四紀地質図」(アーバンクボタ30号)より作成

## ハザードマップ

地域における災害特性や避難所位置などを理解しておくことは、いざという時の避難行動や助け合いに生かせます。

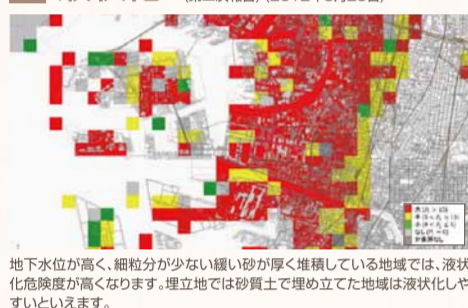
### 1 震度分布

大阪府危機管理室 震度6弱以上の揺れ発生3分後、東南海・南海地震(2010年)



### 2 液状化

中央防災会議 南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第二次報告) (2012年8月29日)



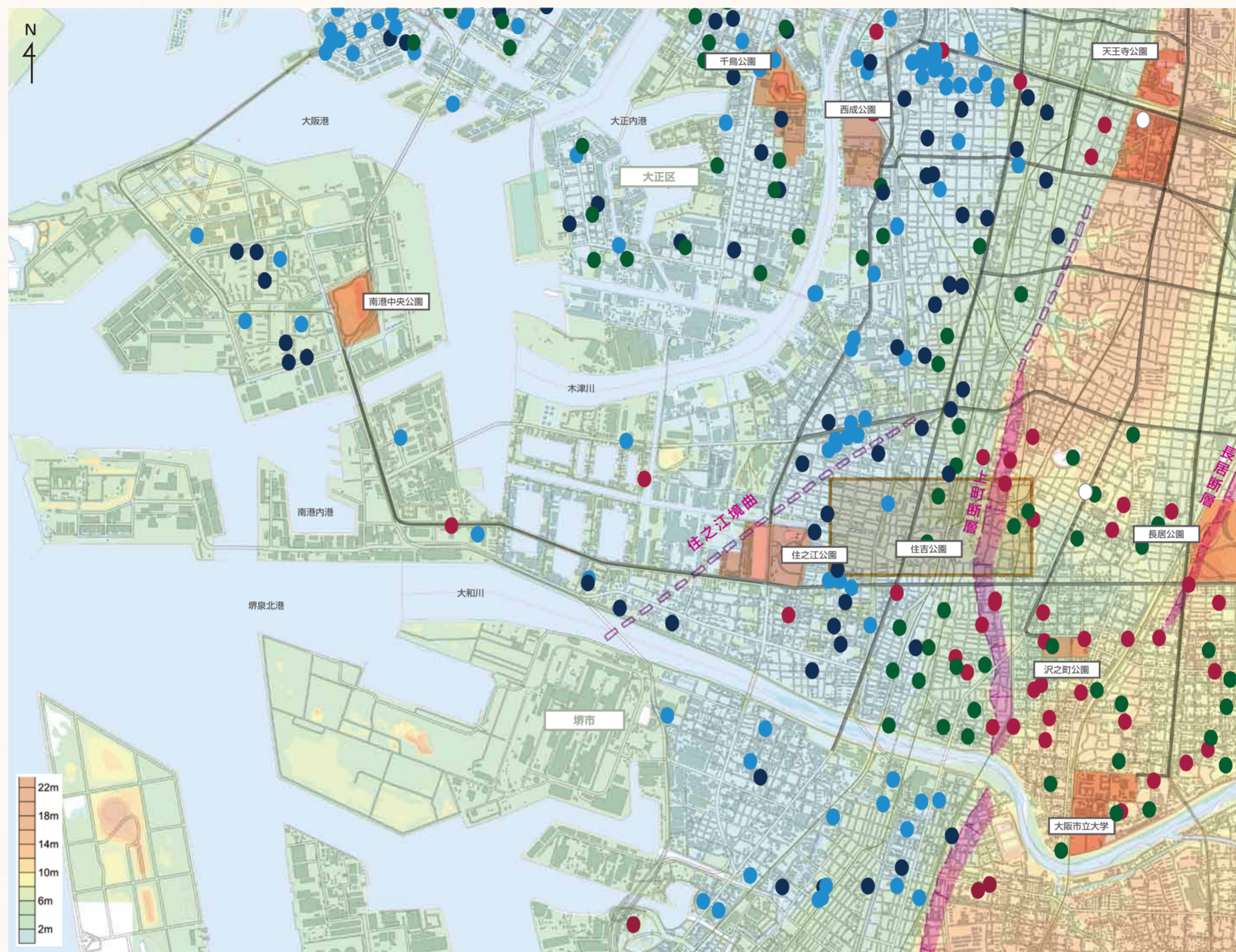
### 3 地盤沈下

中央防災会議 南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第二次報告) (2012年8月29日)



### 4 高潮

大阪湾高潮対策協議会 室戸台風規模最大浸水深 (2010年3月)



マップの説明  
 ■ 広域避難場所 同時多発火災などの際に避難に適する大規模な公園です。長居公園、沢之町公園、大阪市立大学などが指定されています。  
 — 避難路・緊急交通路 広域避難場所までの安全な道路が指定されています。幹線道路などの、幅員の広い道路です。  
 ● 収容避難所 ● 津波避難施設 ● 収容避難所兼 津波避難ビル ● 一時避難場所 ○ 災害拠点病院 ■ まち歩きマップエリア

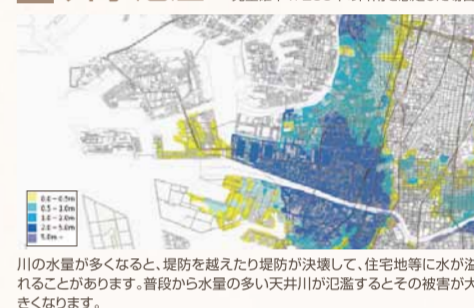
### 5 津波

大阪市危機管理室 震度6弱以上の揺れ発生3分後、堤防がすべて破壊した場合(2012年10月5日)



### 6 外水氾濫

国土交通省近畿地方整備局 発生確率1/200年の降雨を想定した場合



### 7 内水氾濫

大阪市危機管理室 東海豪雨級の降雨 (降雨量567mm、持続大雨量93mm)を想定 (2012年10月5日)



### 8 密集市街地

国土交通省は密集市街地のうち、延焼危険性又は避難困難性が高い地域を「地震時等に著しく危険な密集市街地」と判断し、公表しています。大阪市内で計1,333haあります。

## まち歩きマップ

防災への取り組みには、みんなが暮らしている街を再確認することが大切です。住吉大社周辺を巡りながら、地形や地盤の成り立ちを街の歴史とともにたどってみましょう。地盤の特性はその地域の地形や土地利用、地名などから推察できます。街のなりたちも踏まえて紹介します。



### 1 高燈籠

住吉大社の旧海岸につくられた常夜灯を再建したもの。本来の高燈籠は約200m西の位置にあり、シェーン台風で被害を受け、その後移設された。

### 2 高燈籠頭彰碑

本来の高燈籠の位置を示す碑。江戸期の新田開発の前は、これより西に昔の海岸が広がっていた。

### 3 姫松橋と住吉川

かつては松原の続く浜(住吉浦・出見ノ浜)と呼ばれる海岸。春先には潮干狩りで賑わった。新田開発で両岸が埋め立てられ現在の住吉川が残された。

### 4 十三間(堀)川

かつての干潟を開削してつくられた大和川と木津川を結ぶ南北の運河。現在は埋め立てられ、阪神高速がその上に建設されている。

### 5 細井川(細江川)

上町台地を刻む谷を流れる河川。河口は、かつて住吉津(住吉の細江)として流通拠点でもあった。

### 6 住吉大社が建つ地形

太鼓橋を渡ると大社の社殿があり、数メートル高い地形となる。断崖によって隆起した上町台地の西縁に住吉大社は位置する。

### 7 浅沢神社

万葉集に詠まれるカキツバタの茂る湿地に位置する社。細井川にそう湿地帯の名残でもある。

### 8 熊野街道

上町台地の中央に南北に延びる街道筋。道沿いにかつての面影を残す街並みが随所に見られる。

### 9 上町台地の地形

台地の西側を南北に走る上町断崖によって台地側が隆起しており、台地西端はその段差が明瞭で、いくつもの坂道がある。

### 10 紀州街道

和歌山にいたる山手の熊野街道とは対照的な浜街道。かつての海岸の名残でもある。現在は阪神電気軌道阪堺線が走る。